



## 大和市産業フェア

増委員長お疲れ様



一休み



ポリオ撲滅に1万円の協力です

END POLIO NOW募金額

11,500円

石井さんありがとう



松川PPも



お祝の報告  
伊藤親睦副委員長



会員お誕生祝い  
小金沢和夫会員



会員お誕生祝い  
道岸唯一会員



ご夫人お誕生祝い  
馬郡恵太会員



司会 三浦会員



古木さんお帰りのさい

今後の情報	日付	時間	回数	プログラム内容
	12月 5日(火)		2612	年次総会「会長ノミニー」「次年度理事役員選挙」
	12月 12日(火)		2613	卓話「次年度SAA選出」
	12月 17日(火)		2614	家族会「クリスマス会」
	12月 19日(火)			振替休会

例会日	会員数	出席	出席%	欠席	欠席者名	
11月4日(火)・5日(火)	34(11)	前々回	25	86.67	5	石高・森川・馬郡・田辺
11月 7日(火)	34(11)	前回	25	83.33	5	赤澤・戸張・田辺・片山・石井
11月 28日(火)		本日				

### 【大和ロータリークラブ活動方針：ロータリーに変化をもたらす】

例会場 / 北京飯店 4F  
 例会日 / 毎週火曜日12時30分～13時30分  
 事務局 / 大和商工会議所内 TEL046-263-7926

会長 / 武田 茂 幹事 / 森川 良三  
 会長エレクト / 古川 毅 副幹事 / 花岡 正  
 事務局 e-mail / jimukyoku@yamato-rc.org

### 第2609回 2017年11月4日(土)・5日(日) (やまと産業フェア)

ビジター / 大和田園RC 河西正彦様

### 第2610回 2017年11月7日(火)

司会 / 三浦 高義 会員  
 S. L. / 相原 聡 会員  
 斉唱 / 「君が代」「それでこそロータリー」  
 ゲスト / ナシ  
 ビジター / ナシ

### 会長の時間

武田 茂 会長

先週の土曜、そして日曜日・大和産業フェアが開催されました。いつもよりも出店が少なく感じたのは私だけでしょうか!!



2日間とも天気に恵まれ、又、大勢のメンバーに参加いただき感謝いたします。パンフレットは大勢の人たちにわたすことができました。パンフレットの袋詰め、そして、それを配った皆様ご苦労様でした。

しっかりとRCの宣伝ができたように思います。ポリオの寄付金も成果をあげたようです。2日間朝から遅くまで出席された方々には本当に感謝したいと思います。

三浦さんのお店も大変繁盛していたように思いました。

そして古木さんがニコニコしながら元気に来ていただきました。17度目の入院からの生還おめでとうございました。

以上です。ありがとうございました。

### 幹事報告

森川 良三 幹事

- ◆産業フェア end polio now 募金額11,500円
- ◆11月14・21日はお休みです



#### 【ポスティング】

- ・次第
- ・週報
- ・第5回 理事会議事録
- ・交通事故撲滅大作戦 チラシ

#### 【回覧】

- ・マイロータリー登録方法 ※登録お願い致します!
- ・情報セキュリティ被害最新事例
- ・台北七星RC週報
- ・献血お礼
- ・2018年国際ロータリー年次大会(トロント大会)ご案内
- ・クリスマス会 ショーのご案内



相原ソングリーダー

会員  
卓話

# 「自分の人生観について」

花岡 正

人生観とは何か?自分の生き方、考え方、価値観の様なことと理解している。今、私は74歳、その人生の節々で人生観、価値観を大きく変え、更に私の人生の方向を変えた転機を5つに分けて話そうと思います。(40年目のイニシエーションスピーチです。)

- I 自分の獣医師という職業に就くため、進路を変えたこと 獣医学部受験の動機
- II ロータリークラブに出合って、大和ロータリークラブへ入会したこと
- III 妻 淳子との出会い、結婚して4人の子どもに恵まれ家庭を築いたこと
- IV 長男 健太朗が小学校5年10歳の時に水頭症を伴う脳腫瘍を患ったこと
- V 私が今年8月、前立腺癌で余命を宣告されたこと



花岡正 会員

## I 自分の獣医師という職業に就くため、進路を変えたこと 獣医学部受験の動機

私の職業、獣医師を志したのは、高校3年の時、確か11月末か12月頃で、それまでは建築家志望で、受験する建築学科もほぼ決定していました。

しかし、我が家の血統書付きの秋田犬が、とても病弱で毎日の様に獣医に往診を依頼していました。私もその獣医と親しくなり、診察を手伝っている私の姿を母が見て一言、「正は獣医に向いていると思う。」と言い出しました。私自身も、動物病院や獣医の仕事に、予てから非常に興味を持っていたので、その時点から獣医学部を探し、願書を取り寄せましたが(応募の期間に)間に合わず、受験は来年となりました。次の年、獣医学部へ入学し、イヌやネコなどの小動物臨床の獣医への道がスタートしました。

しかし、その当時、親戚や周りの人たちからは、「余程、金持ちで高価な純血種のイヌやネコを飼っている人以外は獣医に掛かる人は居ないんじゃないか?」と心配する意見がとても多くありました。私も「それならば!」と今から動物病院に受診する患者(動物)を身近な所から増やそうと思い、大学に入学し勉学をする傍ら、将来の私の動物病院に掛かる純粋の犬を増やそうとブリーディング(繁殖)を始めました。

犬を買う資金調達のため、大学時代はフルにアルバイトをし、そのバイト代を元手に、プードル、セントバーナード、ポメラニアン、ダックスフンド等を購入しました。ブリーディング業はとても順調で、繁殖犬の中からチャンピオン犬を多数輩出し、かなり良い収入を得ることが出来ました。最終的には(繁殖も)プードル一本に絞られ、米国、英国からチャンピオン犬を輸入し、プードル専用のクラブを設立し、年1回東京でドッグショーを開催しました。(過去10年で10回開催)私もブリーダーとして成功を収め、日本のみならず米国、英国でもかなり名前の知られた存在でした。ブリーダーとしても成功の渦中にいた私ですが、結婚し長男が生まれたことを契機に、今までイヌのブリーディングとドッグショーに費やした多くの時間を、これからは子どもの教育、家庭生活に注ぐことを決めて、ブリーディング・ドッグショーの世界から退きました。生活を「リセット」した状態でした。

## II ロータリークラブに出合って、大和ロータリークラブへ入会したこと

ロータリークラブとの出会いは、32歳の時、自宅横に4階建のコーポ花岡を建築し、その時の初入居者に岡田先生の妹さんがご入居いただいたことがそのきっかけでした。

岡田先生も、南林間で歯科医師を開業し、その妹さんが助手として勤務していました。その後、34歳の時に3階建の旧病院(1階が動物病院、2～3階が自宅)を建築した後、岡田先生より大和ロータリークラブへの入会のお誘いを受け、昭和53年(1978年)3月13日に入会させていただきました。当時の会長は小武さん、幹事は横澤さんでした。紹介者である岡田先生も(今とは別人)真面目なジェントルマンでした。例会場は八千代銀行(現、大和中クラブ例会場)、39年前のインニエーションスピーチは上がってしまい、頭の中は真っ白で何を話したのか、何も記憶がありません。私の座右の銘としての好きな言葉は、『継続は力なり』『誠実であれ』『生きた金を使え』です。それから39年間、皆出席で大和ロータリークラブの奉仕活動、家族会、各行事、姉妹クラブとの交流にほとんど出席してきました。現在は、来年の40周年(3月13日)皆出席を目標にしています。

古川年度(2018～2019年度)は、どのようなことが起きようとも、責務を果たすと心に誓っています。このロータリー39年間は、私の人格、価値観、人生観を形成する最も重要な時間だったと思います。

### III 妻 淳子との出会い、結婚して4人の子どもの恵まれ家庭を築いたこと

私が39歳、妻 淳子が30歳の時、妻の大学時代の同級生で花岡動物病院の元トリマーの女性の紹介で出会いました。会ったその時から、一目で『私はこの女性と結婚しよう私の伴侶はこの人しかいない!』と直感しました。その後、4人の子どもの恵まれ、今の家庭を築いて35年になります。

子どもの成長・教育・子育ては、私の人生の中で、最も楽しく、やり甲斐があり、(その頃は)充実していた時期だと思います。今、我が家は、長男夫婦、長女夫婦、次男夫婦、次女夫婦それぞれに1人ずつの孫が生まれました。子や孫、合わせて12人が我が家の近くに住んでいて、うるさいくらいに実家を訪れ、私と妻は嬉しい悲鳴を上げています。

我が家は、嫁・姑問題もなく、日々孫たちはうるさく大変ですが、とても幸せを感じています。

これも賢く聡明で気配りの出来る妻 淳子の人柄です。心から感謝します。

そして3年半前に、手狭で老朽化した旧病院から歩いて3～4分の場所に新病院を建築しました。この建物は、私の設計デザインでとても満足しています。設備も最新の医療器具を揃え診察しています。花岡動物病院は、次男・次女・次女の夫、次女が東京大学獣医科病院、研修医時代の同期の獣医と今年度入社した獣医、非常勤女性獣医と私(院長)の計7名の獣医師、トリマー及び看護師の女性スタッフ6名、病院メンテナンス1名、要の経理を妻 淳子が担当し15名で運営をしています。業績もおかげさまでとても順調です。

### IV 長男 健太郎が小学校5年10歳の時に水頭症を伴う脳腫瘍を患ったこと

しかし、良いことばかりの道のりでなく、24年前、健太郎が10歳の時に大病を患い、一番悲しく辛い時期もありました。当時健太郎は、脳腫瘍から水頭症になり、顔と頭が腫れてむくんで絶望的な状態でした。東海大学で開頭手術を受けた後、抗がん剤も投与されました。その後、腫瘍の種類が放射線に治療効果があることが判明し、その当時、日本に2台しかなかったガンマーナイフという患部にピンポイントで照射する放射線治療を受けるために神戸の新須磨病院に転院しました。その甲斐があり、幸運にもその後は快復に向いました。その時の担当教授の大井先生が、健太郎に直接「健太郎君は患者の気持ちが分かる。良い医者になれると思うから医者を目指して頑張りなさい。」と言われました。しかし、私はあれだけの苦難を乗り越えた健太郎に対し、健康でさえいてくれたら、知能の回復、勉強はもうどうでも良いと思っていました。そんな健太郎も、4～5か月ぶりに小学校に復帰し、退院後、最初の算数のテストがクラス1番の成績で、健太郎も私もとても嬉しかったのを覚えています。推測ですが、大井先生の言葉を大切に、入院中も勉強をしていたのだと思います。喜ぶ

## 委員会報告



◆ロータリー財団委員会/相原副委員長



◆親睦委員会/伊藤副委員長



◆公共イメージ委員会/松川委員長



◆出席報告/小金沢委員長

## スマイルBOX

本日 ¥25,000 累計 ¥283,500

◆古木通夫会員/17回目の病院生活から、またまた帰って来ちゃいました。急性糖尿病血糖値956という重症だそう、インシュリンに頼らざるえない不自由人間で、生き延びました。またまたご迷惑をお掛けします！

◆道岸唯一会員/生まれ以来90年の誕生日を祝っていただき有難うございます。

◆花岡正会員/今日は米山奨学生の卓話したが!!本日出席出来ないで、私がピンチヒッターで卓話をやらさせていただきます。お願いですが眠らないでください。よろしく。

◆松川健治会員/先日の産業フェアおつかれさまでした。公共イメージとしての効果はあったと思います。皆様ありがとうございました。

◆本田誠一会員/思いが残らぬ様に今年もあと1月余り、頑張りたいと思います。

◆佐々木和夫会員/古木さん、お帰りなさい。

◆三浦高義会員/先日のやまと産業フェア、お疲れ様でした。ロータリークラブのブースに立てず申し訳ございませんでしたが、私共のブースにたくさんの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

◆小金澤和夫会員/朝夕大変寒く成ってきました。皆様、体調に注意してください。誕生日も近づいて参りました。

◆相原聡会員/11月1日でおかげさまで入会1周年になりました。この日は長男の誕生日です。欧風菓子クドウのバースデーケーキでお祝い致しました。今後共皆様よろしくお願ひ致します。

◆富岡弘文会員/古木さんのテニスクラブが出来るので申し込みに行ったのが古木さんとの初対面。私は学生でした。以来、ケガも病気も目撃して来ましたが、とにかく、健康第一をお願いします。テニス仲間も願っております。

◆馬郡恵太会員/妻の誕生祝いありがとうございます。日頃の感謝の気持ちを込めて、何か好きなものを食べたい年に一度のデートに誘いたいと思います。

◆石高誠一会員/先日の産業フェアには出席出来ませんが、青森に行きお袋に代わって雪支度をして来ました。



スマイルボックス報告  
相原委員

健太朗に、「塾へ行って中学受験するか?」と問いかけてみると、「塾に行きたい。」というので、1日2時間位の勉強で入れる中学を受験しようと四谷大塚進学教室へ復帰しました。その結果、小学6年の2月に浅野学園中学校に合格しました。2~3年前に大和クラブで卓話をいただいた淡路雅夫校長先生を始め、良き先生方、また素晴らしい友人たちに恵まれ、充実した青春時代を過ごせたと思います。

しかし、高校3年の医学部受験の時に病気が再発し、入院中の東海大学病院から外出許可をもらっての大学受験となり、リスクを伴った最悪のコンディションの中での受験でした。そんな中でも健太朗は頑張りを見せ、第1志望の慈恵医大の受験で学力の1次テストは見事受かりました。しかし、喜んだのも束の間、2次テスト(面接)で落とされました。その理由が、「病気の後遺症があるから」とのことでした。健太朗は、「病気の後遺症という理由で落とされるなら、僕はいくら頑張っても医者になれない。」と悔し泣きをしていました。私も悔しくて泣きました。私の涙腺は、健太朗の病気のことに常には常に崩壊しています。それは今でも同じです。

その頃、昭和大学医学部から繰り上がりの合格通知が届きました。昭和大学は心が広い、公平な大学だと感じています。病歴があっても現在元気であれば問題ないということで、入学を許可してくれました。健太朗の在学中、昭和大学医学部に対し、一貫して感じていたことは、「高い志を持って医者を養成しようとする深い教育理念に基づいた大学」であるということです。その入学手続きに入学金・授業料・寮費・合わせて1千数百万円振り込みましたが、お金を振り込んでこんなに嬉しかったことはないと感じました。特に座右の銘である『生きたお金を使え』を実践しました。

健太朗は昨年6月に結婚し、10歳の時の手術の執刀医である大井静雄教授から「医者冥利につきるとは、将にこのことであり、私が執刀した10歳の子もだった健太朗君が希(のぞみ)通り医師を目指し、小児医療に貢献して、今、現在は立派な医師になっていることに感無量の想いです。」との祝辞をいただきました。現在は、小児科医として昭和大学豊洲病院に勤務し、8月に女の子が誕生しました。

### V 私が今年8月、前立腺癌で余命を宣告されたこと

私も74歳、動物病院を開業して、あと2年で50年、ロータリークラブに入会して来年3月で40年、妻 淳子と結婚して35年。現在は子ども4人、お婿さん2人、お嫁さん2人、孫4人、私と妻の14人の大家族になり感無量です。

『しかし、人生そんなに甘くはなかった。』

2~3年前より患っていた前立腺炎、尿閉がひどくレーザー前立腺手術を行った結果、癌細胞が肺と骨に転移してしまっ。悪性度が高く余命あと2年、薬が良く効いて4年と宣告されました。(癌を見つけられずレーザー手術を実施した医療機関には)とても腹がたつが、運命と受け入れるよりしょうがない。人生は甘くない。今では死ぬための準備をしています。武田画伯には、葬式の時の遺影を画いてもらっています。戒名も夫婦で頼んでいますが、私の戒名には『ロータリー』を意味する漢字を入れるつもりでいます。葬式の時は、「良く見ておいてくれ!!!」

さらに子どもたちへの土地のこと、病院のこと、遺言書の作成などかなり忙しいです。

大声で『のろける』わけではありませんが、愛妻の淳子が、愛妻の淳子が、愛妻の淳子が…1日でも1時間でも長く2人で一緒にいたいと言うので、これからは少しでも長く2人の時間をもちたいと思います。

今、自分は、今までにないくらい、気持ちが穏やかである。私の人生の半分以上、在籍してきたロータリークラブ、ロータリーの友人たちとの時間もまた、少しでも多く持ちたいと思っている。

私がお受けた古川年度の幹事の役職は、絶対に投げ出したりしないで責任を果たしたいと思います。有難うございました。